

江の島オリンピックウィーク 2009

Enoshima Olympic Week 2009 – Report in English, see below the Japanese report.

復活しました！もろもろの事情で昨年は中止になったオリンピックウィークですが、江の島470フリートが春先からフリートレースを復活させたことも手伝い、5カ国（イスラエル、フィリピン、香港、マレーシア、日本）からの参加でレースが始まりました。残念ながら、49erとRS:Xはエントリー数が足りなくて中止となりましたが、470は今日から、レーザーは明日からのレースとなりました。

遠くは九州からのエントリーもあり、インカレ目前にスキルアップをはかろうとしている大学生達が数多く集まりました。初日は高気圧に覆われたいい天気、朝吹いていた陸風は9時を回る頃になくなってしまい、陸上待機で海風に回るのを待ちました。10時半を回る頃から海上待機になり、第1レースがスタートしたのは13:18。スタートから右海面へ伸ばしていった原田・吉田組（アビームコンサルティング）が1上から終始トップをキープしました。190度のコース設定でしたが、ガストが右めか

ら入ることが多かったのと、スタートラインよりも風上マークのほうが120度へ流される潮が弱かったこともあって、右海面が伸びたようでした。

14時を過ぎた頃から、時折8ノットを超える風が入り始め、2レース目はスタートでハーフトラピーズに乗るようになりました。運営側も、いつでもO旗を揚げる準備をしていたくらいですが、ゼネリコを繰り返している間に風は少しずつ弱まり、O旗はあがらないまま終わりました。3回目のスタートでは黒旗があがり、ちゃんとスタートできましたが、ガストに入れないと置いて行かれます。軽風を得意とする大学生達はいきいきとしており、法政大学の



オレンジ、日大のピンク、福岡経済のグリーンと、カラフルなスピニングが前のほうで上がりました。しかし、中盤で1上マークを回りながらも、驚異的な追い上げをみせ、各レグでじりじりとあがってきた前田・谷口組（SPN・島精機）がトップで入りました。最初のレースでもそうでしたが、前田・谷口のレースぶりは非常に積極的で、マークでインを狙う、混雑した中では自分で道を広げていく、強引というよりも丁寧に場面場面での1手を確実にうっていき運びでした。



海外勢ではフィリピンのヴィレナ・トロイ組が2レース目にトップ10を走る検討を見せましたが、ダウンウィンドのレグで42条をとられ、ペナルティターンをしている間に順位を落としてしまったのが残念でした。イスラエルチームは2レース目に1上を2位で回ったのですが、どことなく動きに落ち着きがなく、順位を落としてしまいました。

4艇参加している女子チームでは、近藤・田畑組（アビームコンサルティング）が5位につけています。海外遠征のあと、国体では別々の県からでてスキッパー勝負し、田畑が勝ったのですが、体調を崩

して和歌山のレースには出ていませんでした。この大会はフレッシュで、元気な走りです。また、香港女子チームのヨー・チ・ハン、ヘルムスマンがアメリカの大学でPHDをとろうとしているために来日できず、急遽、池本（東京海洋大学）が代替スキッ



パーを務めています。

明日は天気が崩れる様子で、南西から強めの風が入る予報ですが、4レースを予定しています。吹いた中でのイスラエル男子チームの走り、世界3位の原田・吉田組に大学生がどこまでついていかれるものか、楽しみです。

Enoshima Olympic Week is back now. 5 countries- HKG, PHI, MAS, ISR, JPN, 35 x 470s are gathered at the Enoshima Yacht Harbour, and 2 races were sailed today. RS:X and 49er classes were cancelled as there were not enough entries. Laser Class will start from tomorrow.

Big high pressure was right on the Japanese islands, and it was a fine day with light sea-breeze. AP flag was hoisted to stay ashore until 10:30, and later 470s were sent out to start R1 at 13:18. Some University students were travelling more than 1000km to take part this regatta. Most of them are sailing the Inter-collage Final in November, so they want to compete against the top NT, especially Harada/Yoshida, 470 Worlds Bronze medalists.

R1 was won by Harada/Yoshida. The course was set to 190, but the breeze filled in 200 or 210, and the current also helped the right hand side to be favoured. Light weight sailors enjoyed this condition, and Harada/Yoshida also showed their skill, just like winning the Europeans last June.



is sailing with Han as a JPN/HKG combination.

Top overseas entry from PHI, Villena/Try sailed well R2, but they were yellow flagged on the run, and while they complete two turns, they dropped to 14th. Kliger/Gal of ISR did not enjoy the light condition, and they look forward to more breeze tomorrow.

R2 was won by Maeda/Taniguchi. This team was aggressive and clever. Each mark rounding, they tried to get inside, and they did to climb up from the middle of the fleet to 1st. Last No.3 mark rounding was just like watching the skill book DVD. As Harada/Yoshida was out of top 10, Maeda/Taniguchi is leading overall after two races.

There are 4 Women's teams. Kondo/Tabata is leading. They had a bit of break, and now fresh to race. Yau Chi Han from HKG did not have a skipper to sail – the skipper is in the USA to study and achieve PHD. So, Midori Ikemoto